

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エージーピー

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 金子 晋也

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,938	△6.0	162	△33.5	137	△36.4	70	△24.3
23年3月期第2四半期	5,255	△2.4	243	3.0	216	2.7	92	△5.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 69百万円 (△28.1%) 23年3月期第2四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.03	—
23年3月期第2四半期	6.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,625	5,701	49.0
23年3月期	12,154	5,757	47.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,701百万円 23年3月期 5,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の期末配当予想につきましては未定としておりましたが、連結業績予想の算定に伴い、上記のとおりといたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,974	△7.2	304	△41.8	254	△44.8	107	△48.6	7.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、原発事故の影響による航空需要の動向や、電力需給状況の動向などが当社業績に与える影響を合理的に算出することが困難であることから未定としておりましたが、この度、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、上記のとおりといたしました。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	13,950,000 株	23年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,857 株	23年3月期	1,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	13,948,143 株	23年3月期2Q	13,948,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞を脱し、回復の途上にあるなかで、電力供給の制約や原発事故の影響、欧州の債務危機による金融市場の動揺や円高の長期化等、先行きのリスク要因による景気の下振れが懸念されております。

航空業界では、航空各社による路線の運休・減便等からは徐々に回復しつつあるものの、引き続き機材の小型化が進んでおります。また、原発事故の影響や円高などにより訪日需要の回復が遅れております。

このような中、当四半期の売上高は、動力事業では、羽田空港新国際線地区の供用開始による販売増があったものの、機材の小型化や路線の運休・減便などにより特に成田空港で影響を受け、前年同期比 2 億 11 百万円 (7.9%) 減の 24 億 76 百万円となりました。なお、8 月には、航空各社による小型化を含む機材構成の変化に対応できる、新しい動力料金体系への改定を実施しております。また、今夏の電力供給の制約については、電源車の活用により、軽微な影響に止めることができました。整備事業では、関西空港における手荷物搬送設備の補修工事の受注等により、1 億 13 百万円 (6.2%) 増の 19 億 62 百万円となりました。付帯事業では、昨年同期はフードコート販売の大型案件があったことから、2 億 19 百万円 (30.5%) 減の 4 億 99 百万円となりました。

以上により、売上高合計は 3 億 16 百万円 (6.0%) 減の 49 億 38 百万円となりました。

営業費用では、動力事業、付帯事業での販売減に伴う原材料費の減があり、さらに人材の効率的な運用等による人件費の削減や、消耗品費をはじめとした管理可能経費の削減に努めたものの、羽田空港新国際線地区動力供給設備の減価償却費の増があり、2 億 34 百万円 (4.7%) 減の 47 億 76 百万円となりました。

この結果、営業利益は 81 百万円 (33.5%) 減の 1 億 62 百万円、経常利益は 78 百万円 (36.4%) 減の 1 億 37 百万円、当四半期純利益は 22 百万円 (24.3%) 減の 70 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末に比べて 34 百万円 (0.7%) 減の 47 億 42 百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が 1 億 10 百万円減少し、現金及び預金が 81 百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比 4 億 95 百万円 (6.7%) 減の 68 億 82 百万円となりました。これは、主に有形固定資産が 4 億 57 百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前期末に比べて 5 億 29 百万円 (4.4%) 減少して 116 億 25 百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前期末に比べて 2 億 32 百万円 (12.5%) 減の 16 億 31 百万円となりました。これは、未払金等その他の流動負債が 2 億 38 百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前期末比 2 億 41 百万円 (5.3%) 減の 42 億 91 百万円となりました。これは、長期借入金が 2 億 33 百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前期末に比べて 4 億 73 百万円 (7.4%) 減少して 59 億 23 百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前期末に比べて 56 百万円 (1.0%) 減少して 57 億 1 百万円となりました。これは、当四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が 55 百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

動力事業では、原発事故の影響や円高の長期化などにより訪日需要の回復が遅れていることに加え、欧州の債務危機による景気の下振れ懸念など厳しい状況が続いており、航空需要の本格的な回復には時間がかかることが想定され、売上高は前期比 3 億 13 百万円 (6.1%) 減の 48 億 4 百万円を見込みます。

整備事業では、顧客の経費削減施策の実施に伴い、例年下期に集中する施設・設備等の更新・修繕作業の大幅な減少が予想されることから、売上高は 1 億 21 百万円 (2.8%) 減の 41 億 48 百万円を見込みます。

付帯事業では、フードカート販売で前年に大型案件があったことから、売上高は 3 億 33 百万円 (24.6%) 減の 10 億 20 百万円を見込みます。

以上のことから、売上高合計は 7 億 69 百万円 (7.2%) 減の 99 億 74 百万円となる見込みです。

一方、営業費用は、引き続き原材料費、人件費をはじめとしたあらゆる経費の削減に努めてまいりますが、営業利益は 2 億 18 百万円 (41.8%) 減の 3 億 4 百万円、経常利益は 2 億 6 百万円 (44.8%) 減の 2 億 54 百万円、当期純利益につきましては 1 億 1 百万円 (48.6%) 減の 1 億 7 百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,163,395	2,244,639
受取手形及び売掛金	1,519,832	1,409,596
有価証券	390,430	390,556
商品及び製品	51,765	32,659
仕掛品	81,804	155,101
原材料及び貯蔵品	220,986	252,592
その他	348,523	257,444
流動資産合計	4,776,738	4,742,590
固定資産		
有形固定資産		
構築物	8,663,831	8,667,157
減価償却累計額	△6,162,057	△6,376,132
構築物(純額)	2,501,774	2,291,024
機械及び装置	7,842,189	7,861,882
減価償却累計額	△5,749,150	△5,929,438
機械及び装置(純額)	2,093,039	1,932,444
その他	1,934,653	1,933,267
減価償却累計額	△1,027,116	△1,103,399
その他(純額)	907,537	829,867
土地	110,608	110,608
建設仮勘定	475,912	467,552
有形固定資産合計	6,088,871	5,631,497
無形固定資産		
その他	69,913	57,213
無形固定資産合計	69,913	57,213
投資その他の資産		
その他	1,228,013	1,205,631
貸倒引当金	△8,900	△11,725
投資その他の資産合計	1,219,113	1,193,906
固定資産合計	7,377,898	6,882,617
資産合計	12,154,636	11,625,207

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	498,443	526,505
未払法人税等	97,715	76,092
その他	1,267,934	1,029,390
流動負債合計	1,864,092	1,631,988
固定負債		
長期借入金	2,818,750	2,585,625
退職給付引当金	1,352,728	1,401,806
資産除去債務	31,901	32,076
その他	329,195	271,789
固定負債合計	4,532,574	4,291,297
負債合計	6,396,667	5,923,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,604,837	3,549,519
自己株式	△630	△630
株主資本合計	5,757,657	5,702,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311	△417
その他の包括利益累計額合計	311	△417
純資産合計	5,757,968	5,701,921
負債純資産合計	12,154,636	11,625,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,255,209	4,938,793
売上原価	4,607,247	4,404,099
売上総利益	647,962	534,693
販売費及び一般管理費	404,020	372,409
営業利益	243,941	162,284
営業外収益		
受取利息	2,343	1,830
受取配当金	80	534
保険配当金	1,029	—
為替差益	—	1,564
その他	2,368	1,841
営業外収益合計	5,822	5,770
営業外費用		
支払利息	32,350	29,612
その他	485	480
営業外費用合計	32,835	30,092
経常利益	216,928	137,962
特別損失		
固定資産除却損	1,409	35
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,235	—
貸倒引当金繰入額	625	2,825
その他	982	—
特別損失合計	23,252	2,860
税金等調整前四半期純利益	193,675	135,102
法人税、住民税及び事業税	104,492	67,630
法人税等調整額	△3,601	△2,744
法人税等合計	100,890	64,886
少数株主損益調整前四半期純利益	92,784	70,215
四半期純利益	92,784	70,215

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,784	70,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,913	△728
その他の包括利益合計	3,913	△728
四半期包括利益	96,698	69,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,698	69,486

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	193,675	135,102
減価償却費	413,605	486,148
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,277	69,035
有形固定資産除却損	1,187	35
受取利息及び受取配当金	△2,423	△2,364
支払利息	32,350	29,612
売上債権の増減額(△は増加)	457,762	110,236
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,894	△85,797
仕入債務の増減額(△は減少)	△395,821	28,062
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	62,199
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,198	23,496
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,235	—
その他	△4,467	△62,717
小計	640,684	793,049
利息及び配当金の受取額	2,423	2,364
利息の支払額	△32,289	△29,936
法人税等の支払額	△30,626	△89,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,191	676,399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△236,767	△176,034
無形固定資産の取得による支出	△14,849	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,667	△1,831
敷金及び保証金の回収による収入	27,898	27,541
その他	△622	△3,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226,009	△153,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△247,371	△264,514
リース債務の返済による支出	△44,221	△51,116
配当金の支払額	△125,363	△125,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	583,043	△441,075
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	937,225	81,369
現金及び現金同等物の期首残高	2,120,593	2,553,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,057,819	2,635,195

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,687,668	1,849,001	718,540	5,255,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	6,441	6,441
計	2,687,668	1,849,001	724,981	5,261,650
セグメント利益	284,945	138,696	157,762	581,403

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	581,403
全社費用（注）	△337,462
四半期連結損益計算書の営業利益	243,941

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,476,414	1,962,935	499,443	4,938,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,470	2,470
計	2,476,414	1,962,935	501,913	4,941,263
セグメント利益	127,834	234,610	111,415	473,861

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	473,861
全社費用（注）	△311,576
四半期連結損益計算書の営業利益	162,284

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。